



AAA の RSA SecurID サーバー

ここでは、AAA で使用する RSA SecurID サーバーの設定方法について説明します。RSA SecurID サーバーは、通信に SDI プロトコルを使用することから、SDI サーバーとも呼ばれます。管理接続、ネットワークアクセス、および VPN ユーザーアクセスの認証に RSA SecurID サーバーを使用できます。

- [RSA SecurID サーバーについて \(1 ページ\)](#)
- [AAA の RSA SecurID サーバーのガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [AAA の RSA SecurID サーバーの設定 \(2 ページ\)](#)
- [AAA の RSA SecurID サーバーのモニタリング \(5 ページ\)](#)
- [AAA の RSA SecurID サーバーの履歴 \(6 ページ\)](#)

RSA SecurID サーバーについて

RSA SecurID サーバは、認証に直接使用することも、認証の第 2 要素として間接的に使用することもできます。後者の場合は、SecurID サーバーと RADIUS サーバーの間で SecurID サーバーとの関係を設定し、RADIUS サーバーを使用するように ASA を設定します。

一方、SecurID サーバーに対して直接認証する場合は、SDI プロトコルの AAA サーバグループを作成します。これは、それらのサーバーとの通信に使用されるプロトコルです。

SDI を使用する場合は、AAA サーバグループを作成するときにプライマリ SecurID サーバーを指定するだけで済みます。ASA からサーバーに最初に接続したときに、すべての SecurID サーバーのレプリカをリストした `sdiconf.rec` ファイルを取得します。以降にプライマリサーバが応答しない場合、それらのレプリカが認証に使用されます。

さらに、ASA を認証エージェントとして RSA Authentication Manager に登録する必要があります。ASA を登録していないと認証の試行は失敗します。

AAA の RSA SecurID サーバーのガイドライン

- シングルモードで最大 200 個のサーバグループ、またはマルチモードでコンテキストごとに 8 つのサーバグループを持つことができます。

- 各グループには、シングルモードで最大 16 台、マルチモードで最大 8 台のサーバーを含めることができます。ユーザーがログインすると、コンフィギュレーション内で指定されている最初のサーバーから順に、サーバーが応答するまでこれらのサーバーが1つずつアクセスされます。

AAA の RSA SecurID サーバーの設定

ここでは、RSA SecurID サーバーグループの設定方法について説明します。管理アクセスや VPN を設定するときに、これらのグループを使用できます。

RSA SecurID AAA サーバーグループの設定

認証に RSA SecurID サーバーとの直接通信を使用する場合は、最初に少なくとも 1 つの SDI サーバーグループを作成し、各グループに 1 つ以上のサーバーを追加する必要があります。RADIUS サーバーとプロキシ関係が確立された SecurID サーバーを使用する場合は、ASA で SDI AAA サーバーグループを設定する必要はありません。

手順

ステップ 1 SDIAAA サーバーグループを作成し、AAA サーバーグループ コンフィギュレーションモードを開始します。

aaa-server server_group_name protocol sdi

例 :

```
ciscoasa(config)# aaa-server watchdog protocol sdi
```

ステップ 2 (オプション) 次のサーバーを試す前にグループ内の AAA サーバーでの AAA トランザクションの失敗の最大数を指定します。

max-failed-attempts number

例 :

```
ciscoasa(config-aaa-server-group)# max-failed-attempts 2
```

number 引数の範囲は 1 ~ 5 です。デフォルトは 3 です。

ローカルデータベースを使用してフォールバック方式 (管理アクセス専用) を設定すると、グループ内のすべてのサーバーが応答しないか応答が無効である場合にグループは応答なしと見なされ、フォールバック方式が試行されます。サーバーグループで、追加の AAA 要求によるアクセスがない、非応答と見なされる時間が 10 分間 (デフォルト) 続くと、ただちにフォールバック方式が使用されます。非応答時間をデフォルトから変更するには、次のステップの **reactivation-mode** コマンドを参照してください。

フォールバック方式として設定されていない場合、ASA は引き続きグループ内のサーバーにアクセスしようとします。

- ステップ 3** (任意) グループ内で障害の発生したサーバーを再度アクティブ化する方法 (再アクティブ化ポリシー) を指定します。

reactivation-mode {**depletion** [**deadtime** *minutes*] | **timed**}

例 :

```
ciscoasa(config-aaa-server-group)# reactivation-mode depletion deadtime 20
```

depletion キーワードを指定すると、グループ内のすべてのサーバーが非アクティブになって初めて、障害の発生したサーバーが再度アクティブ化されます。これは、デフォルトのモードです。

deadtime *minutes* キーワードと引数のペアは、グループ内の最後のサーバーをディセーブルにしてから次にすべてのサーバーを再度イネーブルにするまでの経過時間を、0～1440分の範囲で指定します。デッドタイムは、ローカルデータベースへのフォールバックを設定した場合にのみ適用されます。認証は、デッドタイムが経過するまでローカルで試行されます。デフォルトは 10 分です。

timed キーワードを指定すると、30 秒のダウン時間の後、障害が発生したサーバーが再度アクティブ化されます。

SDI サーバーグループへの RSA SecurID サーバーの追加

SDI サーバーグループを使用する前に、少なくとも 1 つの RSA SecurID サーバーをグループに追加する必要があります。

SDI サーバーグループのサーバーは、ASA との通信に認証およびサーバー管理プロトコル (ACE) を使用します。

手順

-
- ステップ 1** RSA SecurID サーバーを SDI サーバーグループに追加します。

aaa-server *server_group* [(*interface_name*)] **host** *server_ip*

例 :

```
ciscoasa(config-aaa-server-group)# aaa-server servergroup1 outside host 10.10.1.1
```

インターフェイスを指定しない場合、ASA ではデフォルトで内部インターフェイスを使用します。

IPv4 または IPv6 アドレスを使用できます。

ステップ 2 サーバーへの接続試行のタイムアウト値を指定します。

timeout *seconds*

サーバーのタイムアウト間隔（1～300 秒）を指定します。デフォルトは 10 秒です。各 AAA トランザクションに対して、タイムアウトに達するまで、（**retry-interval** コマンドで定義された間隔に基づいて）ASA による接続の試行が行われます。連続して失敗したトランザクションの数が AAA サーバークラス内の **max-failed-attempts** コマンドで指定された制限に達すると、AAA サーバーは非アクティブ化され、ASA は（設定されている場合は）別の AAA サーバーへの要求の送信を開始します。

例：

```
ciscoasa(config-aaa-server-host)# timeout 15
```

ステップ 3 再試行間隔を指定します。システムはこの時間待機してから接続要求を再試行します。

retry-interval *seconds*

1～10 秒を指定できます。デフォルトは 10 です。

例：

```
ciscoasa(config-aaa-server-host)# retry-interval 6
```

ステップ 4 デフォルトの RSA SecurID ポート（TCP/5500）と異なる場合はサーバーポートを指定します。ASA は、このポートで RSA SecurID サーバーに接続します。

server-port *port_number*

例：

```
ciscoasa(config-aaa-server-host)# server-port 5555
```

SDI ノードシークレットファイルのインポート

RSA Authentication Manager（SecurID）サーバーによって生成されたノードシークレットファイルを手動でインポートできます。

手順

ステップ 1 RSA Authentication Manager サーバーからノードシークレットファイルをエクスポートします。詳細については、RSA Authentication Manager のドキュメントを参照してください。

ステップ 2 解凍したバージョンのノードシークレットファイルを ASA からアクセスできるサーバーに配置するか、ASA 自体にコピーします。

サーバーは、FTP、HTTP、HTTPS、SCP、SMB、TFTP のいずれかの転送プロトコルをサポートしている必要があります。

ステップ 3 ノードシークレットファイルをインポートします。

```
aaa sdi import-node-secret filepath rsa_server_address password
```

値は次のとおりです。

- *filepath* は、RSA Authentication Manager からエクスポートして解凍されたノードシークレットファイルへの完全なパスです。ローカルシステムのファイルは、**disk0:**、**disk1:**、または **flash:** としてアドレス指定できます。リモートサーバーのファイルの場合は、**ftp://** などの標準の URL 表記を使用します。
- *rsa_server_address* は、ノードシークレットが属する RSA Authentication Manager サーバーの IP アドレスまたは完全修飾ホスト名です。
- *password* は、エクスポート時にファイルを保護するために使用されるパスワードです。

例：

```
ciscoasa# aaa sdi import-node-secret nodesecret.rec rsaam.example.com mysecret  
nodesecret.rec imported successfully  
ciscoasa#
```

AAA の RSA SecurID サーバーのモニタリング

次のコマンドを使用して、RSA SecurID 関連情報をモニターおよびクリアできます。

- **show aaa-server**

AAA サーバーの統計情報を表示します。サーバーの統計情報をクリアするには、**clear aaa-server statistics** コマンドを使用します。

- **show running-config aaa-server**

システムに設定されている AAA サーバーを表示します。AAA サーバーコンフィギュレーションを削除するには、**clear configure aaa-server** コマンドを使用します。

- **show aaa sdi node-secrets**

インポートされたノードシークレットファイルがある RSA SecurID サーバーを表示します。ノードシークレットファイルを削除するには、**clear aaa sdi node-secret** コマンドを使用します。

AAA の RSA SecurID サーバーの履歴

機能名	プラットフォームリリース	説明
SecurID サーバー	7.2(1)	AAA の SecurID サーバーの管理認証でのサポート。以前のリリースでは、SecurID は VPN 認証でサポートされていました。
AAA の IPv6 アドレス	9.7(1)	AAA サーバーに IPv4 または IPv6 アドレスを使用できるようになりました。
グループごとの AAA サーバー グループとサーバーの制限が増えました。	9.13(1)	<p>より多くの AAA サーバー グループを設定できます。シングルコンテキストモードでは、200 個の AAA サーバーグループを設定できます（以前の制限は 100）。マルチコンテキストモードでは、8 個設定できます（以前の制限は 4）。</p> <p>さらに、マルチコンテキストモードでは、グループごとに 8 台のサーバーを設定できます（以前の制限はグループごとに 4 台のサーバー）。シングルコンテキストモードのグループごとの制限の 16 は変更されていません。</p> <p>これらの新しい制限を受け入れるために、次のコマンドが変更されました。aaa-server、aaa-server host</p>
SDIAAA サーバーグループで使用するノードシークレットファイルの RSA Authentication Manager からの手動インポート。	9.15(1)	<p>SDI AAA サーバーグループで使用するために RSA Authentication Manager からエクスポートしたノードシークレットファイルをインポートできます。</p> <p>次のコマンドが追加されました。aaa sdi import-node-secret、clear aaa sdi node-secret、show aaa sdi node-secrets。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。